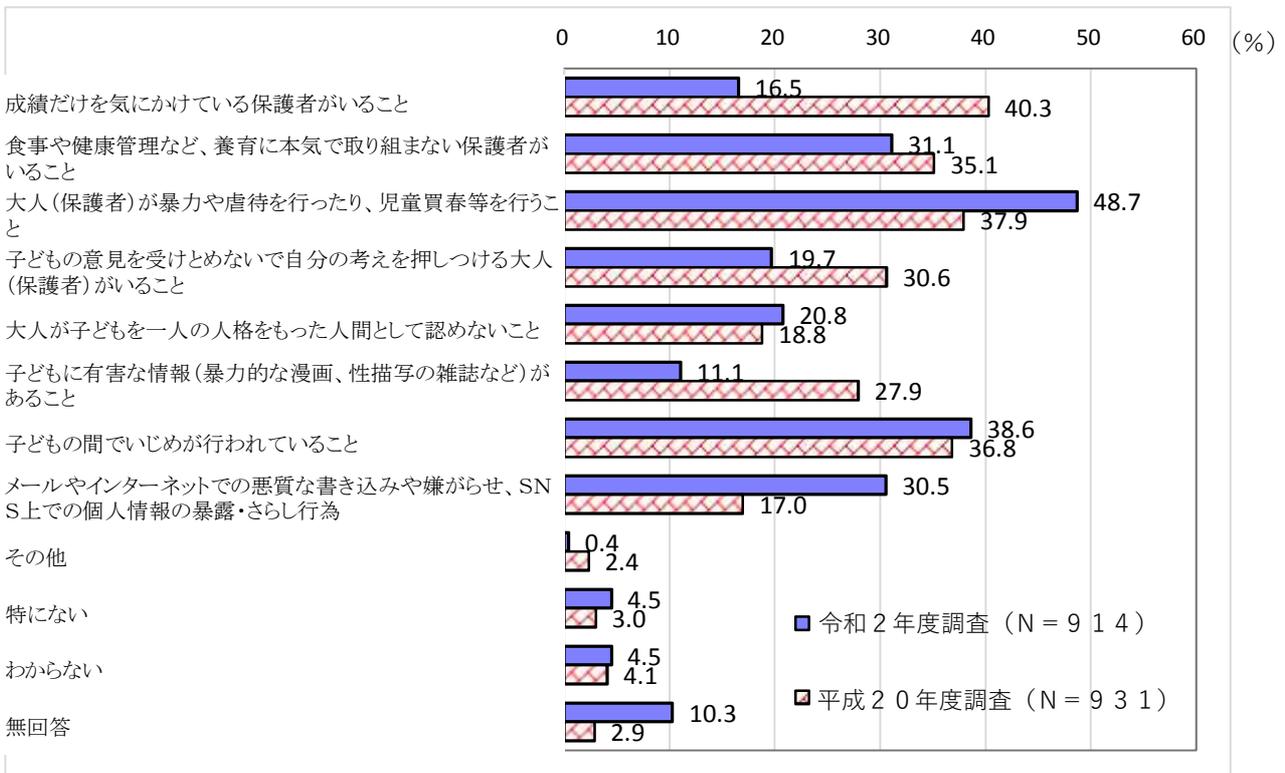


### (3) 子どもに関する人権上の問題点と見聞

#### (ア) 子どもに関する人権上の問題点

問7 あなたは、子どもに関することからで、問題があると思われるのはどのようなことですか。(✓は3つまで)

図7-1-1 子どもに関する人権上の問題点 (経年比較)

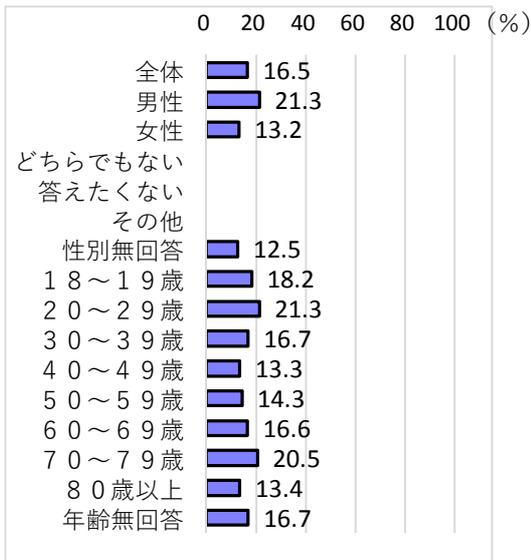


子どもに関する人権問題を尋ねたところ、「大人(保護者)が暴力や虐待を行ったり、児童買春等を行うこと」と答えた人が48.7%で最も高く、次いで、「子どもの間でいじめが行われていること」(38.6%)、「食事や健康管理など、養育に本気で取り組まない保護者がいること」(31.1%)、「メールやインターネットでの悪質な書き込みや嫌がらせ、SNS上での個人情報の暴露・さらし行為」(30.5%)、「大人が子どもを一人の人格をもった人間として認めないこと」(20.8%)と続いている。

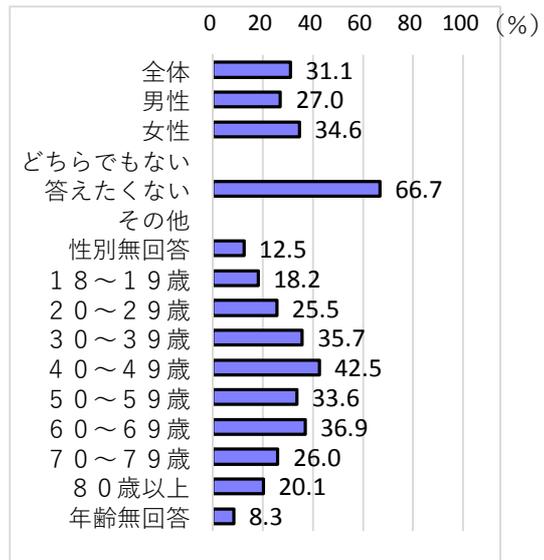
平成20年度調査結果と比較すると、「メールやインターネットでの悪質な書き込みや嫌がらせ、SNS上での個人情報の暴露・さらし行為」は13.5ポイント高く、次いで、「大人(保護者)が暴力や虐待を行ったり、児童買春等を行うこと」が10.8ポイントと高くなっている。

図7-1-2 子どもに関する人権上の問題点（性・年齢別）

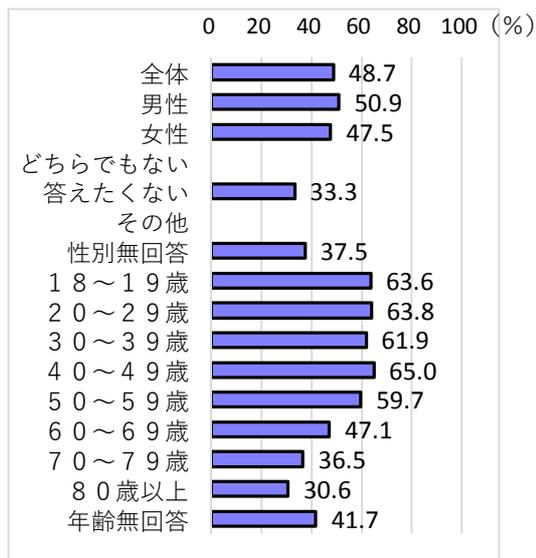
成績だけを気にかけている保護者がいること



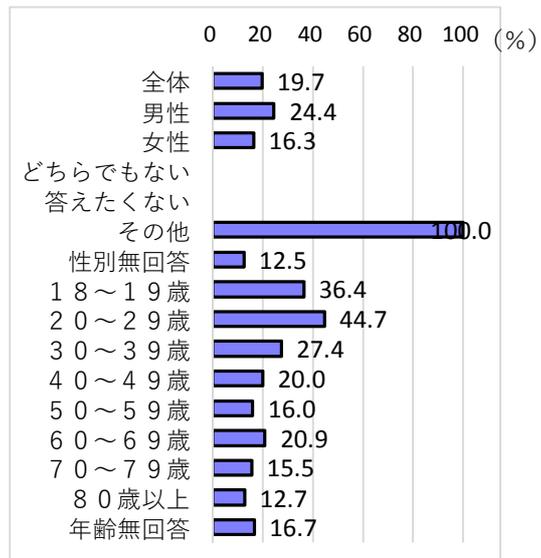
食事や健康管理など、養育に本気で取り組まない保護者がいること



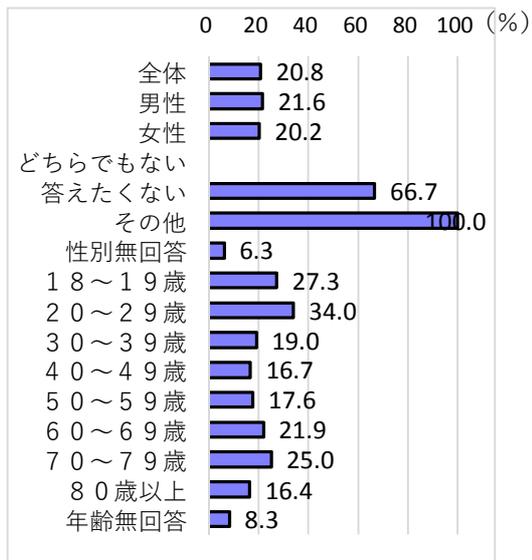
大人(保護者)が暴力や虐待を行ったり、児童買春等を行うこと



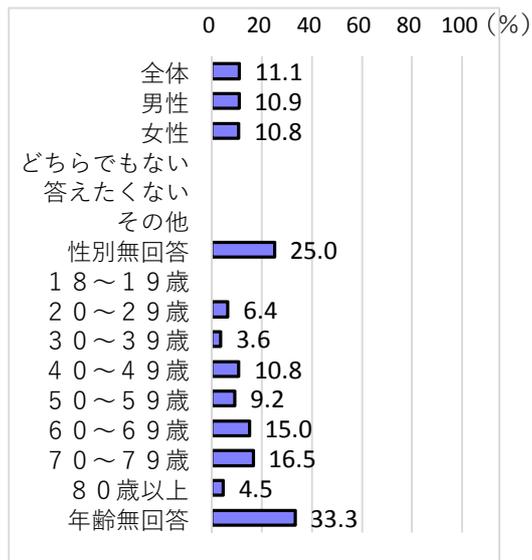
子どもの意見を受けとめないで自分の考えを押しつける大人(保護者)がいること



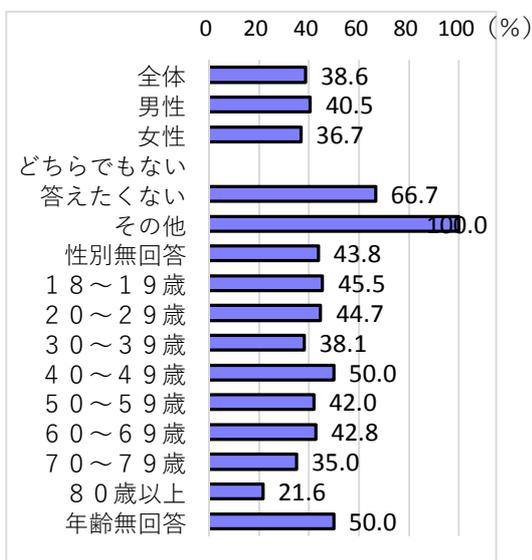
大人が子どもを一人の人格をもった人間として認めないこと



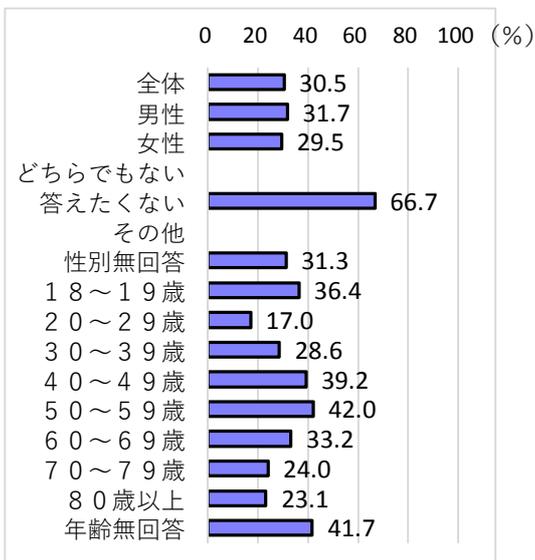
子どもに有害な情報(暴力的な漫画、性描写の雑誌など)があること



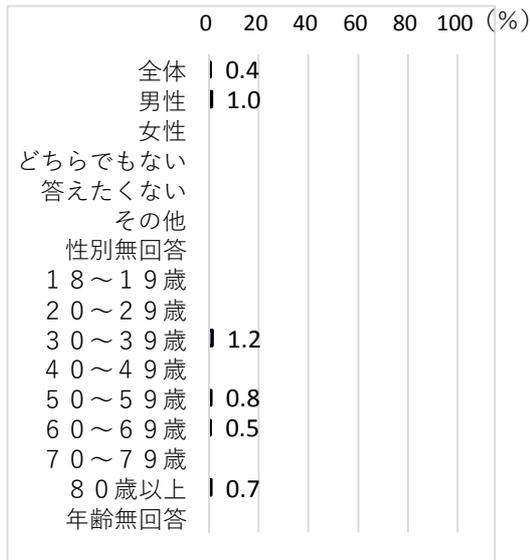
子どもの間でいじめが行われていること



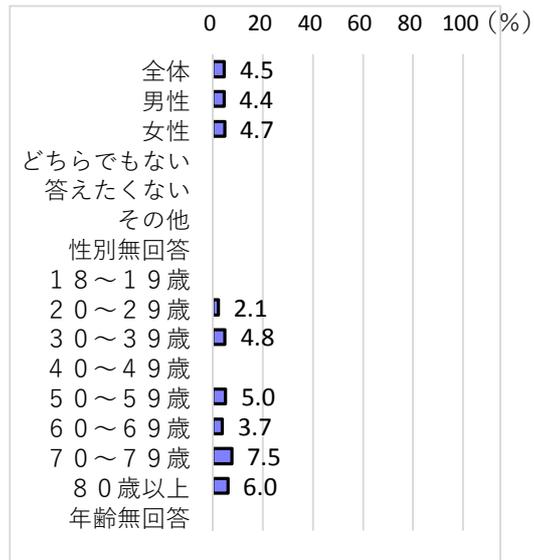
メールやインターネットでの悪質な書き込みや嫌がらせ、SNS上での個人情報の暴露・さらし行為



その他



特にない



わからない



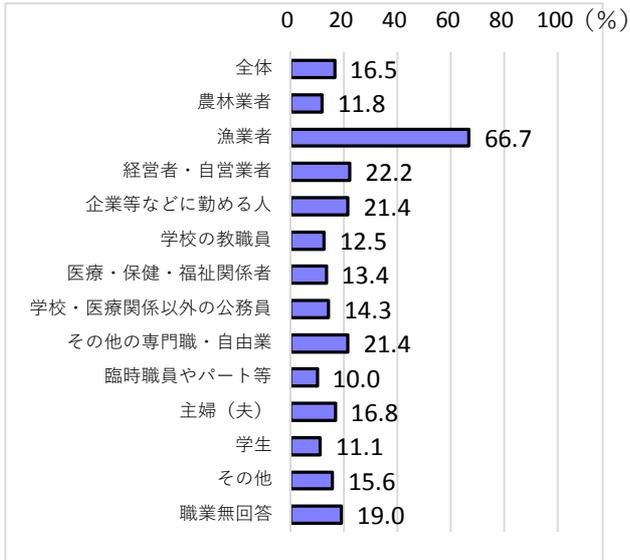
全体	(N=914)
男性	(N=385)
女性	(N=509)
どちらでもない	(N=0)
答えたくない	(N=3)
その他	(N=1)
性別無回答	(N=16)
18～19歳	(N=11)
20～29歳	(N=47)
30～39歳	(N=84)
40～49歳	(N=120)
50～59歳	(N=119)
60～69歳	(N=187)
70～79歳	(N=200)
80歳以上	(N=134)
年齢無回答	(N=12)

子どもに関する人権上の問題点について性別にみると、男女ともに「大人(保護者)が暴力や虐待を行ったり、児童買春等を行うこと」の回答割合が最も高くなっている。また、男性は女性に比べ「成績だけを気にかけている保護者がいること」(8.1ポイント差)、「子どもの意見を受けとめないで自分の考えを押しつける大人(保護者)がいること」(8.1ポイント差)の回答割合が高く、女性は男性に比べ「食事や健康管理など、養育に本気で取り組まない保護者がいること」(7.6ポイント差)の回答割合が高くなっている。

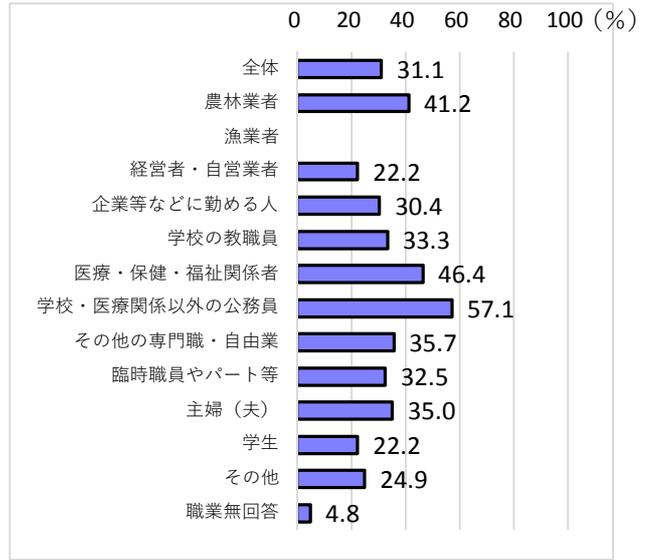
年齢別にみると、すべての年齢で「大人(保護者)が暴力や虐待を行ったり、児童買春等を行うこと」の回答割合が最も高くなっており、40歳～49歳は65.0%となっている。

図7-1-3 子どもに関する人権上の問題点（職業別）

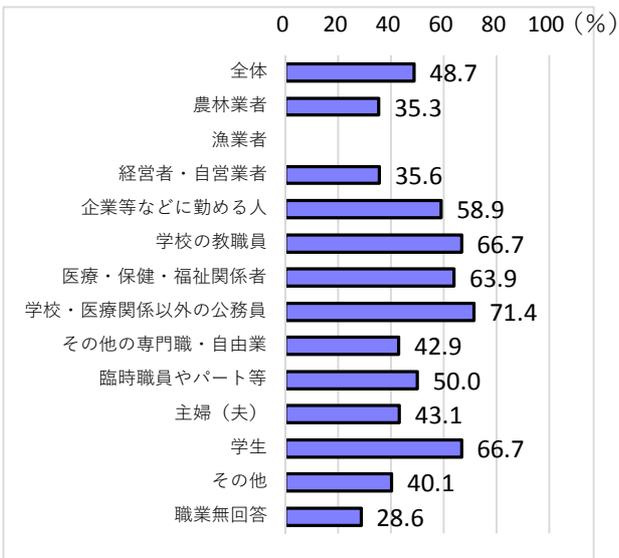
成績だけを気にかけている保護者がいること



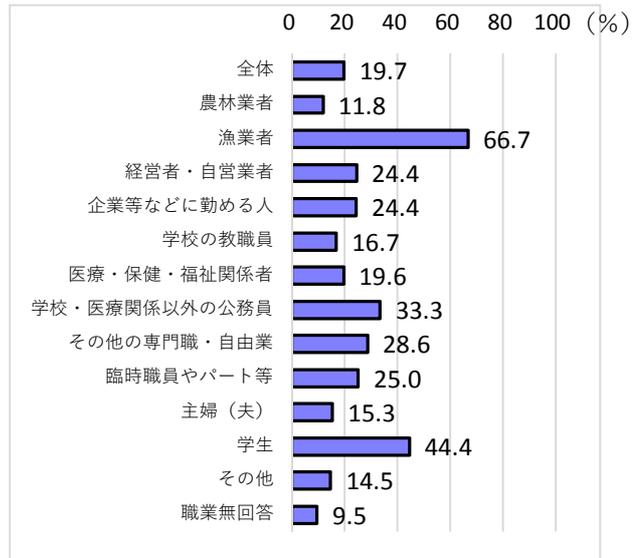
食事や健康管理など、養育に本気で取り組まない保護者がいること



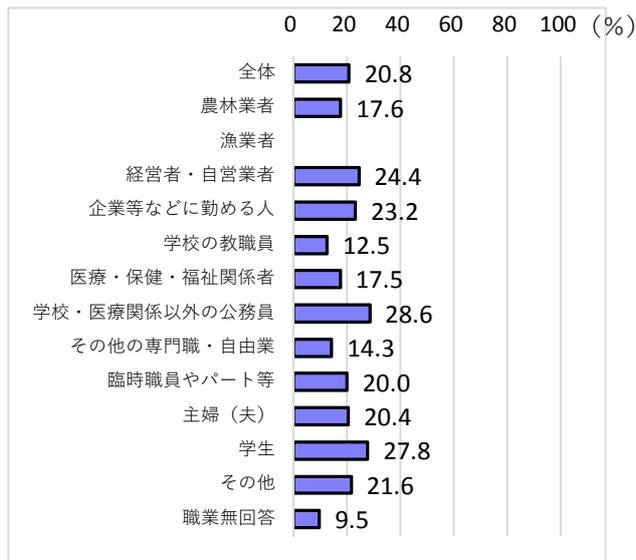
大人(保護者)が暴力や虐待を行ったり、児童買春等を行うこと



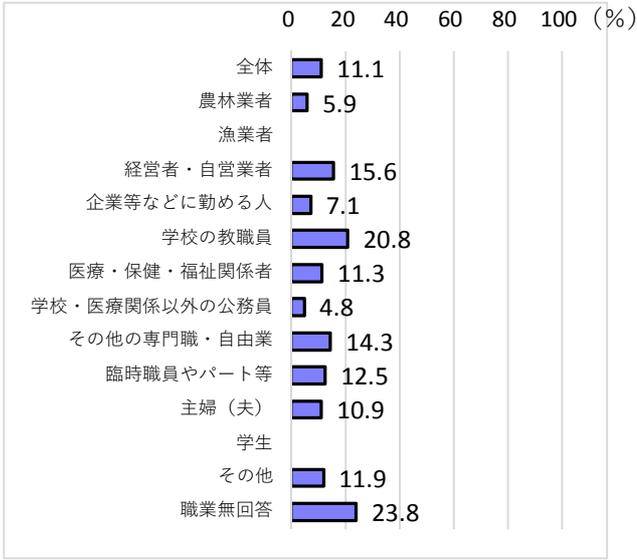
子どもの意見を受けとめないで自分の考えを押しつける大人(保護者)がいること



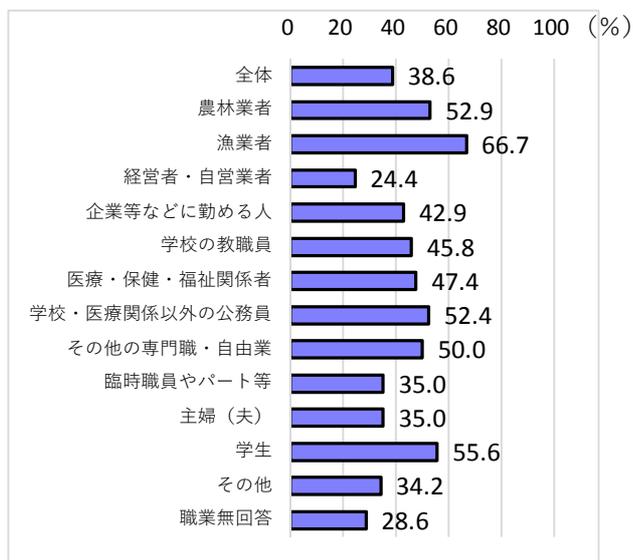
大人が子どもを一人の人格をもった人間として認めないこと



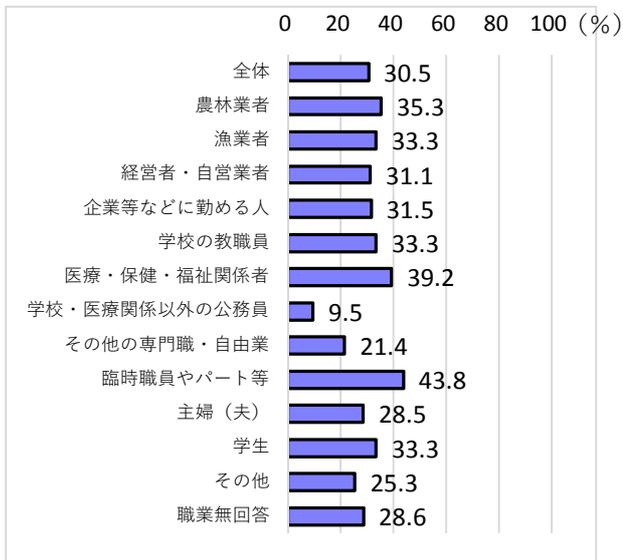
子どもに有害な情報(暴力的な漫画、性描写の雑誌など)があること



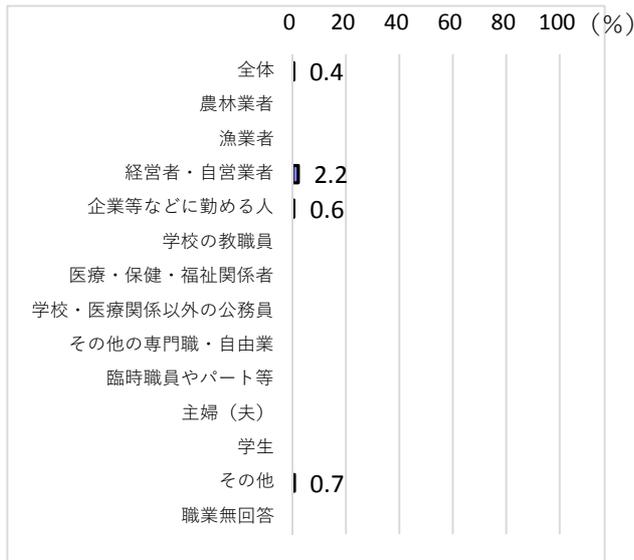
子どもの間でいじめが行われていること



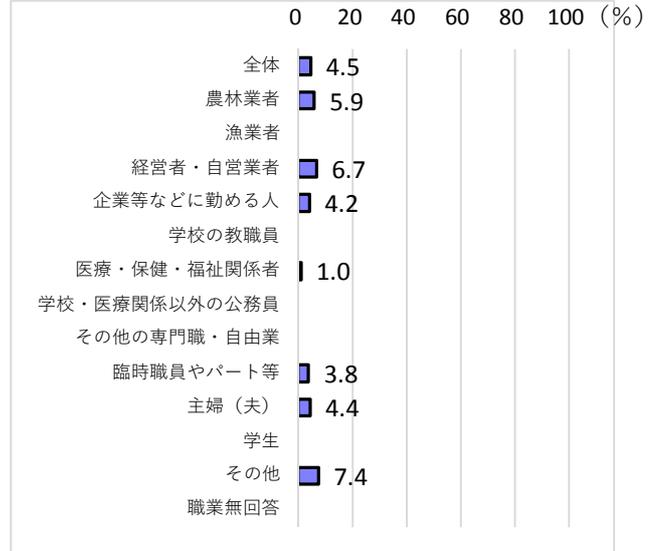
メールやインターネットでの悪質な書き込みや嫌がらせ、SNS上での個人情報の暴露・さらし行為



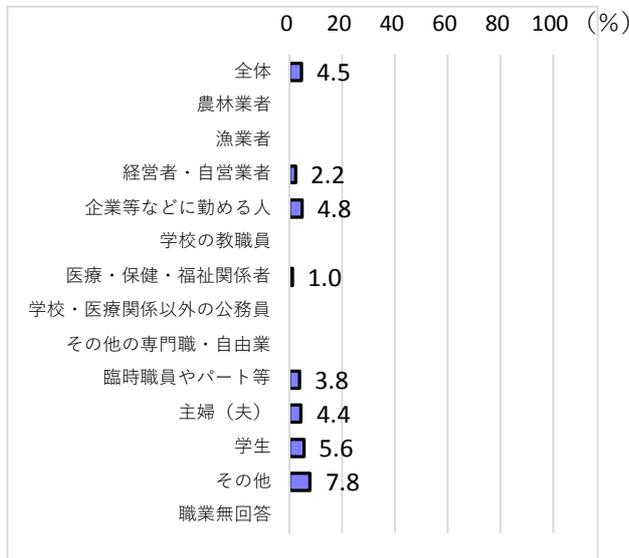
その他



特にない



わからない



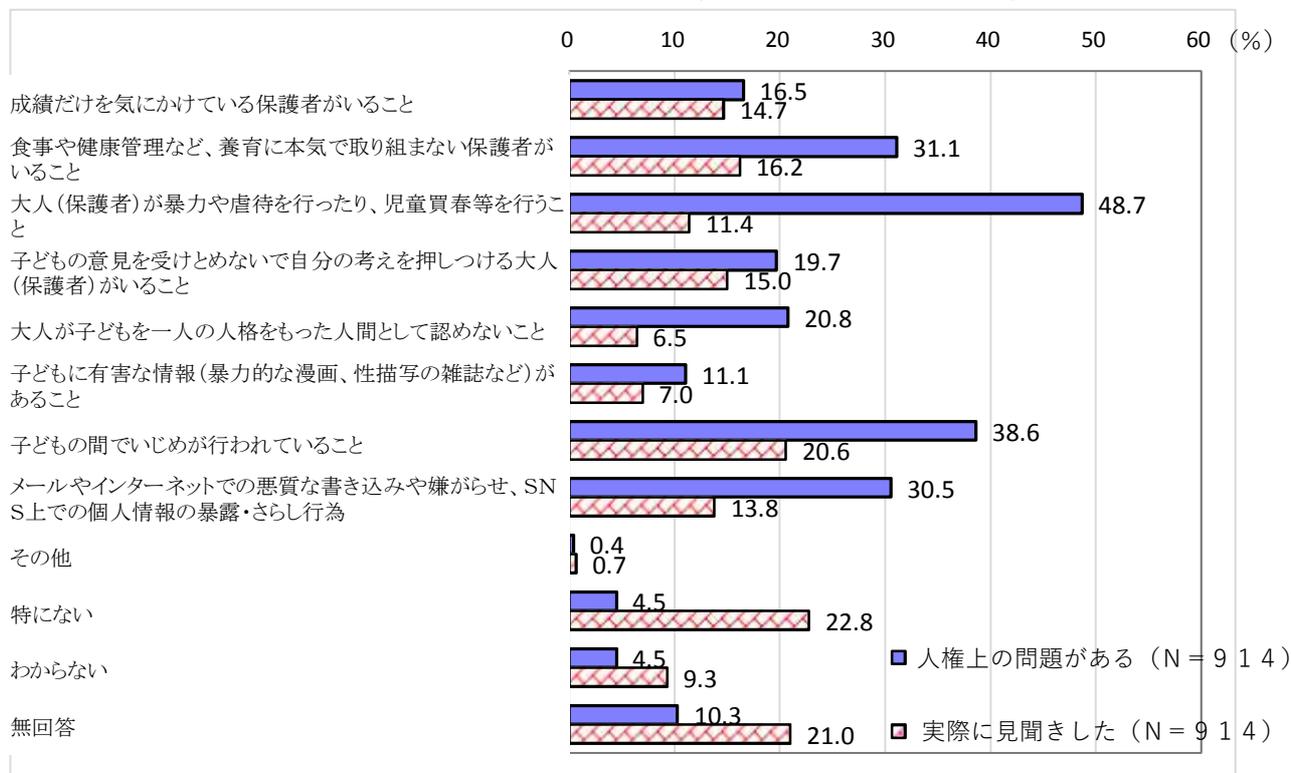
全体	(N=914)
農林業者	(N=17)
漁業者	(N=3)
経営者・自営業者	(N=45)
企業等に勤める人	(N=168)
学校の教職員	(N=24)
医療等の関係者	(N=97)
その他の公務員	(N=21)
他の専門職・自由業	(N=14)
臨時職員・パート等	(N=80)
主婦(夫)	(N=137)
学生	(N=18)
その他	(N=269)
職業無回答	(N=21)

子どもに関する人権上の問題点について職業別にみると、農林業者、漁業者以外の職業において「大人(保護者)が暴力や虐待を行ったり、児童買春等を行うこと」の回答割合が最も高くなっており、学校・医療関係以外の公務員は、71.4%となっている。また、農林業者は「子どもの間でいじめが行われていること」(52.9%)、サンプル数は少ないが、漁業者は「成績だけを気にしている保護者がいること」(66.7%)、「子どもの意見を受けとめないで自分の考えを押しつける大人(保護者)がいること」(66.7%)、「子どもの間でいじめが行われていること」(66.7%)の回答割合が高くなっている。

(イ) 子どもに関する人権問題を見聞きした経験

問7 また、あなたが、過去5年間に、実際に見聞きしたのがありますか。(✓は3つまで)

図7-2-1 子どもに関する人権問題を見聞きした経験 (問題点・見聞比較)

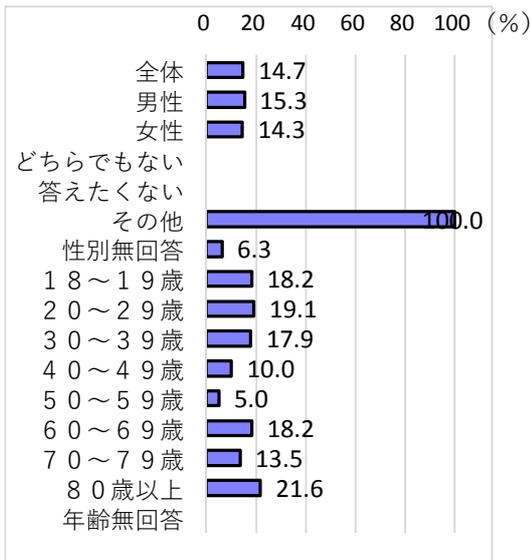


子どもに関する人権問題について「見聞きした経験」をみると、「子どもの間でいじめが行われていること」と答えた人が20.6%、次いで、「食事や健康管理など、養育に本気で取り組まない保護者がいること」(16.2%)、「子どもの意見を受けとめないで自分の考えを押しつける大人(保護者)がいること」(15.0%)、「成績だけを気にしている保護者がいること」(14.7%)、「メールやインターネットでの悪質な書き込みや嫌がらせ、SNS上での個人情報の暴露・さらし行為」(13.8%)と続いている。

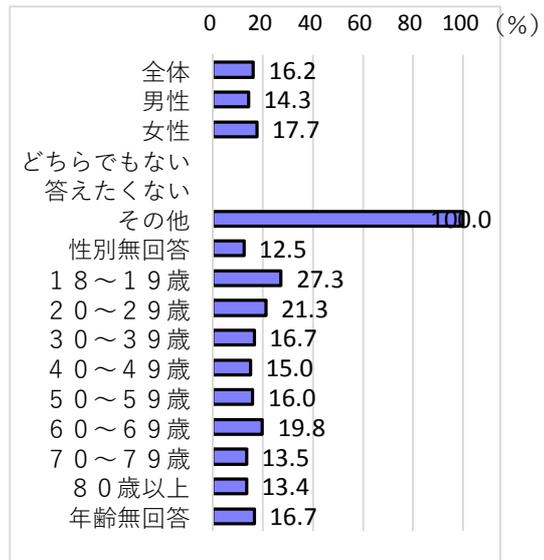
また、子どもに関する人権問題について「見聞きした経験」と「問題点」を比較すると、具体的な事象を表す選択肢の回答割合については、すべて「見聞きした経験」が、「問題点」の回答割合を下回っている。「成績だけを気にしている保護者がいること」については、「見聞きした経験」の回答割合と「問題点」の回答割合が、1.8ポイント差と近似値になっている。

図7-2-2 子どもに関する人権問題を見聞きした経験（性・年齢別）

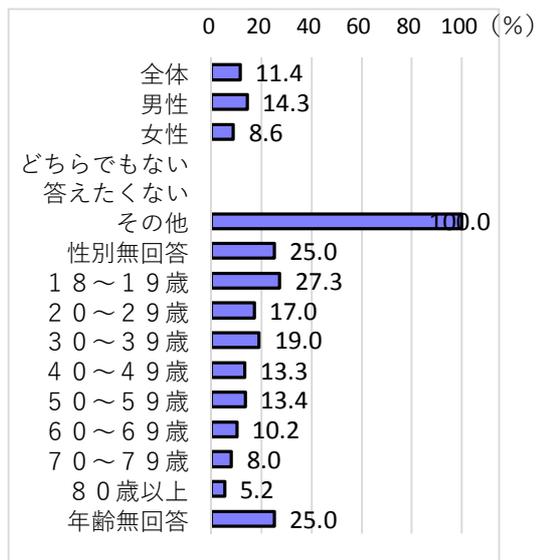
成績だけを気にかけている保護者がいること



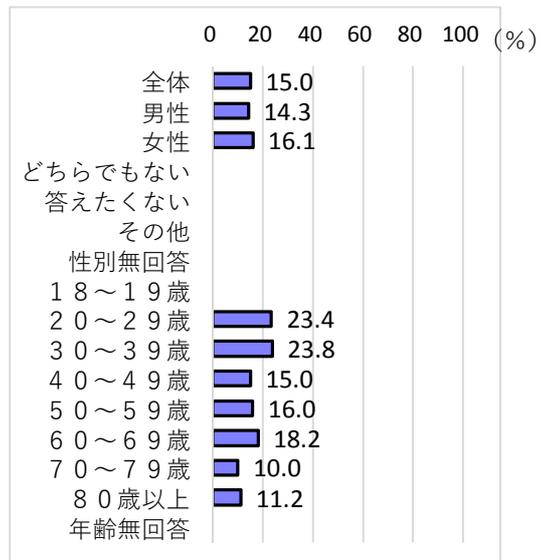
食事や健康管理など、養育に本気で取り組まない保護者がいること



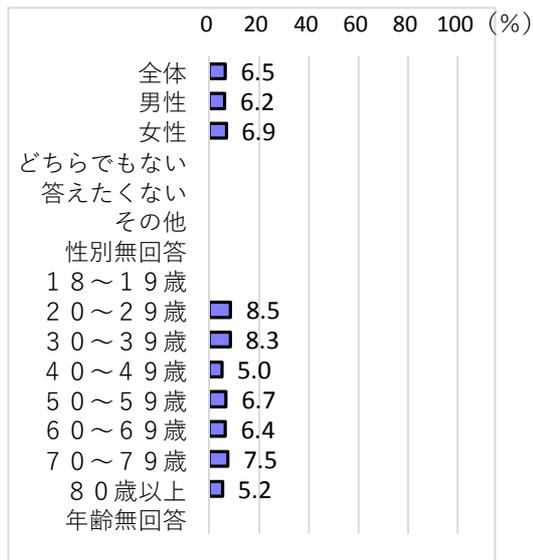
大人(保護者)が暴力や虐待を行ったり、児童買春等を行うこと



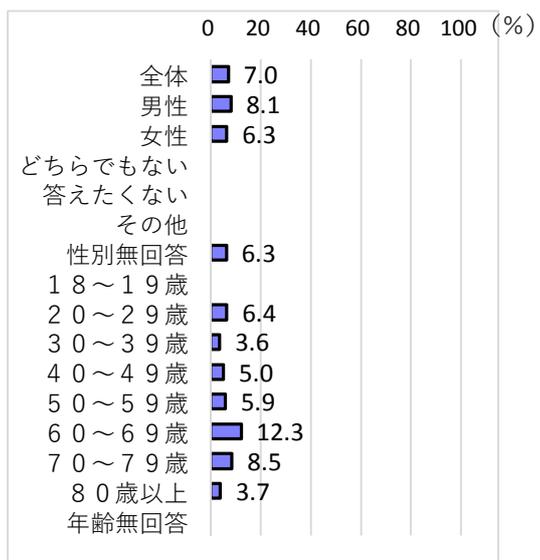
子どもの意見を受けとめないで自分の考えを押しつける大人(保護者)がいること



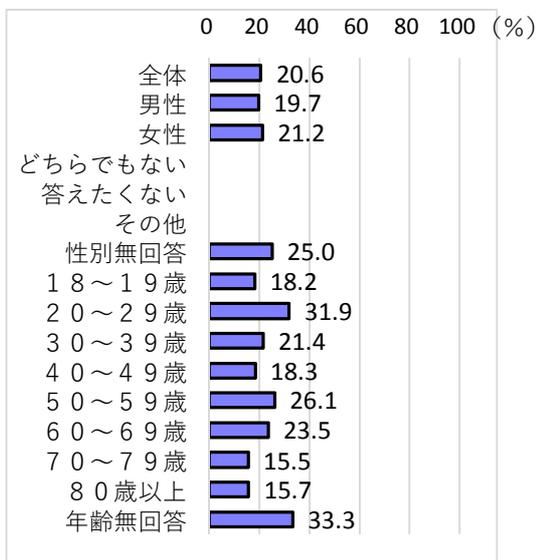
大人が子どもを一人の人格をもった人間として認めないこと



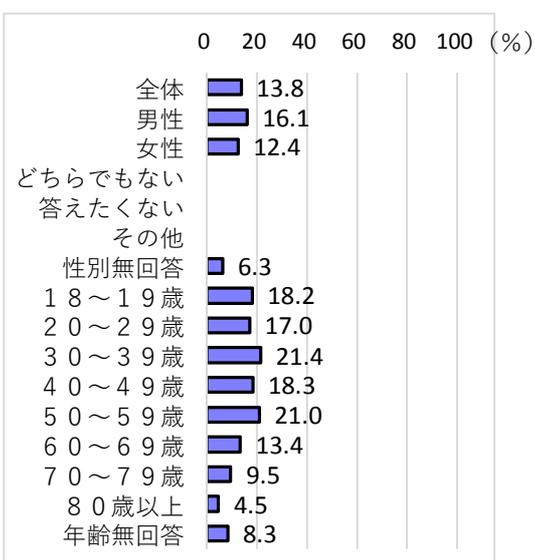
子どもに有害な情報(暴力的な漫画、性描写の雑誌など)があること



子どもの間でいじめが行われていること



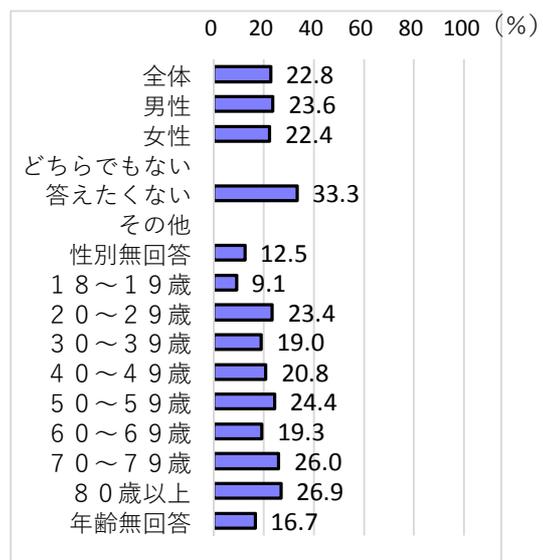
メールやインターネットでの悪質な書き込みや嫌がらせ、SNS上での個人情報の暴露・さらし行為



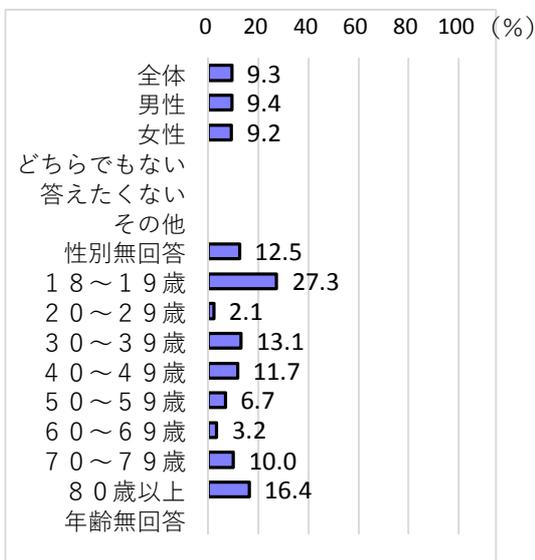
その他



特にない



わからない



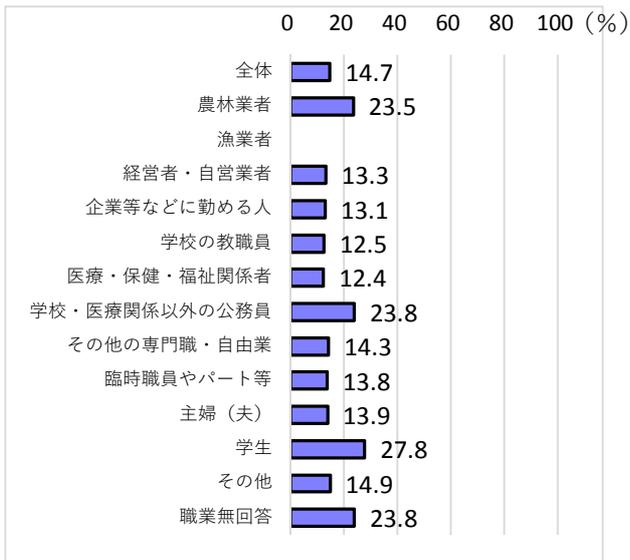
全体	(N=914)
男性	(N=385)
女性	(N=509)
どちらでもない	(N=0)
答えたくない	(N=3)
その他	(N=1)
性別無回答	(N=16)
18～19歳	(N=11)
20～29歳	(N=47)
30～39歳	(N=84)
40～49歳	(N=120)
50～59歳	(N=119)
60～69歳	(N=187)
70～79歳	(N=200)
80歳以上	(N=134)
年齢無回答	(N=12)

子どもに関する人権問題の「見聞きした経験」について性別にみると、男女ともに「子どもの間でいじめが行われていること」の回答割合が最も高くなっている。

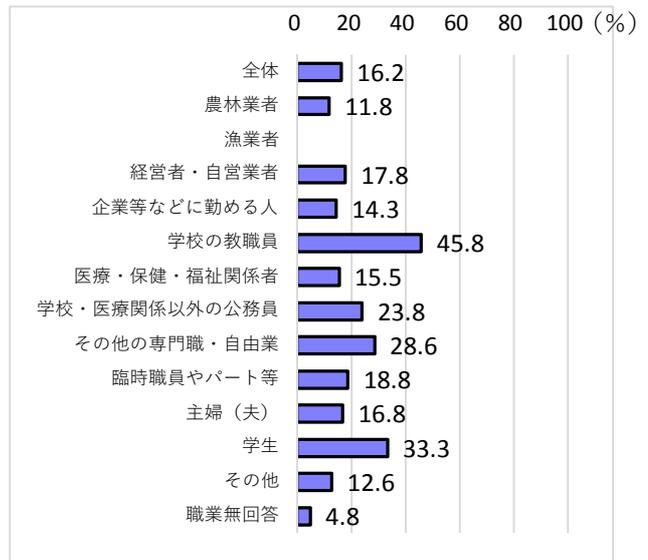
年齢別にみると、20歳～29歳、40歳～79歳では「子どもの間でいじめが行われていること」の回答割合が高くなっている。また、18歳～19歳は「食事や健康管理など、養育に本気で取り組まない保護者がいること」(27.3%)、「大人(保護者)が暴力や虐待を行ったり、児童買春等を行うこと」(27.3%)、30歳～39歳は「子どもの意見を受けとめないで自分の考えを押しつける大人(保護者)がいること」(23.8%)、80歳以上は「成績だけを気にしている保護者がいること」(21.6%)の回答割合が最も高くなっている。

図7-2-3 子どもに関する人権問題を見聞きした経験（職業別）

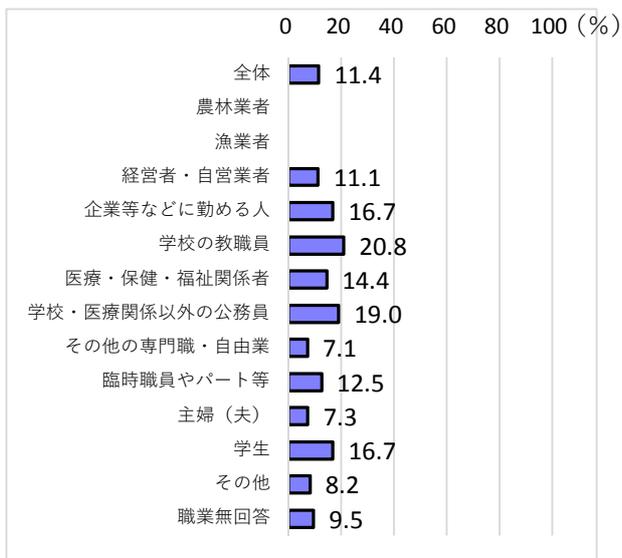
成績だけを気にかけている保護者がいること



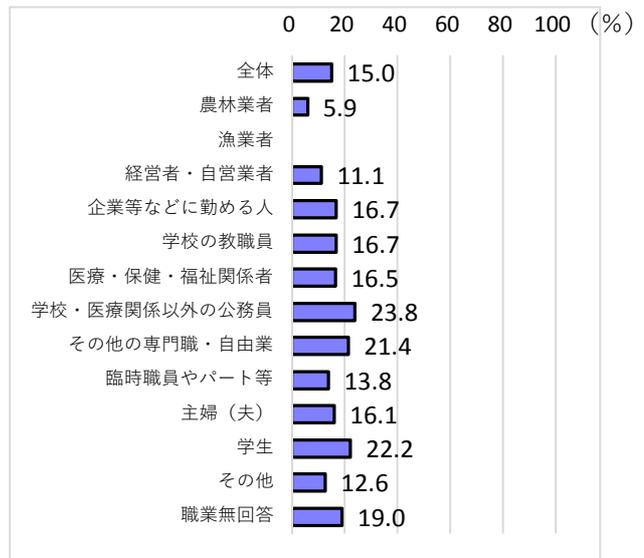
食事や健康管理など、養育に本気で取り組まない保護者がいること



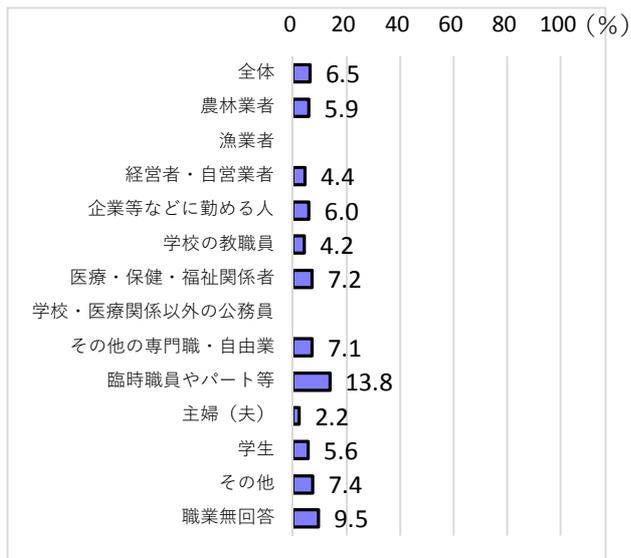
大人(保護者)が暴力や虐待を行ったり、児童買春等を行うこと



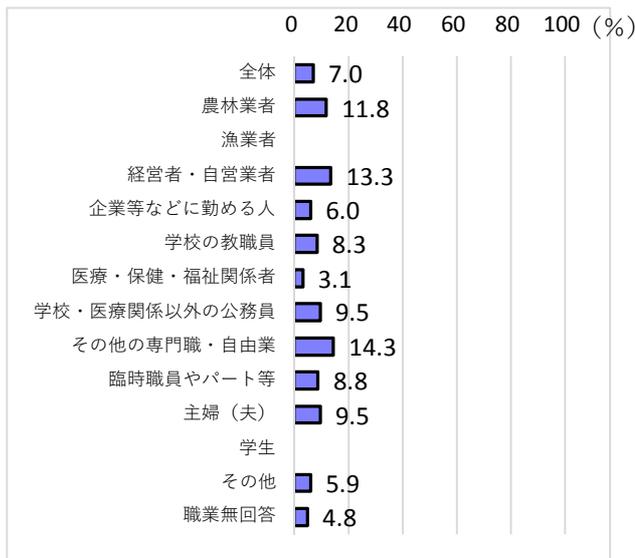
子どもの意見を受けとめないで自分の考えを押しつける大人(保護者)がいること



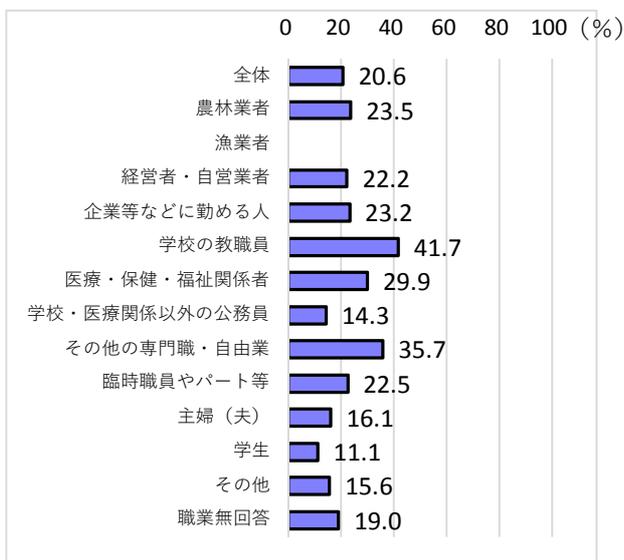
大人が子どもを一人の人格をもった人間として認めないこと



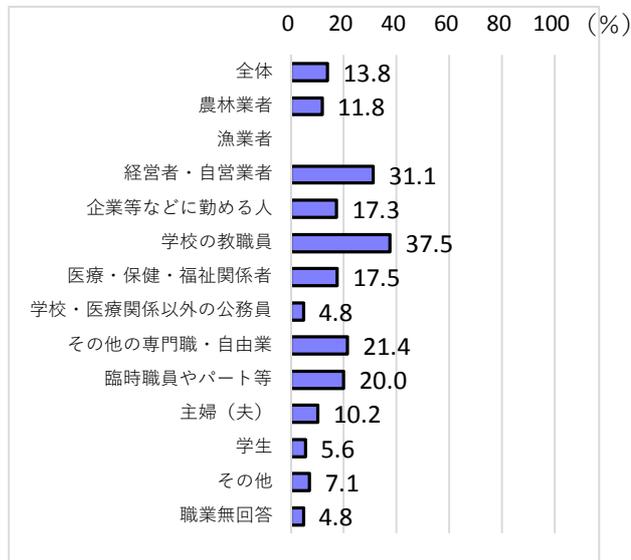
子どもに有害な情報(暴力的な漫画、性描写の雑誌など)があること



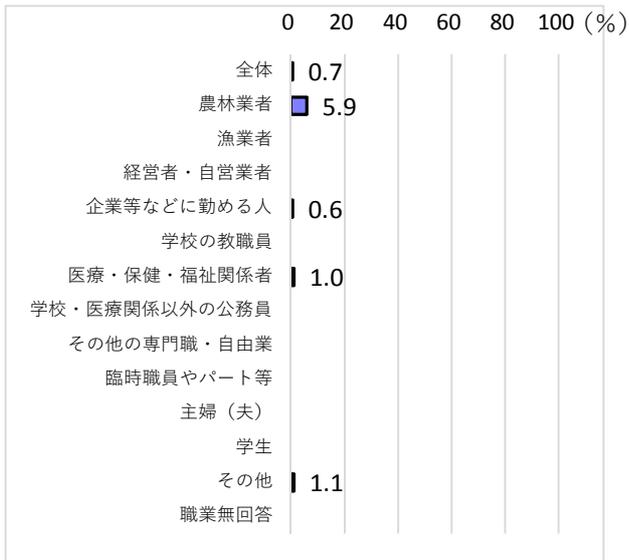
子どもの間でいじめが行われていること



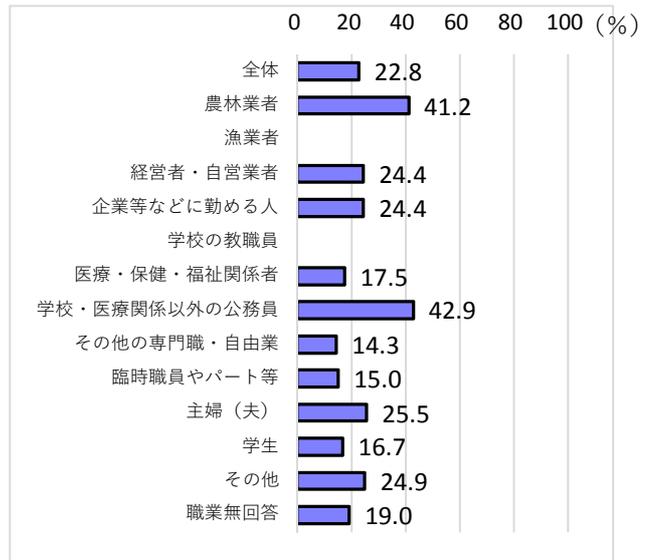
メールやインターネットでの悪質な書き込みや嫌がらせ、SNS上での個人情報の暴露・さらし行為



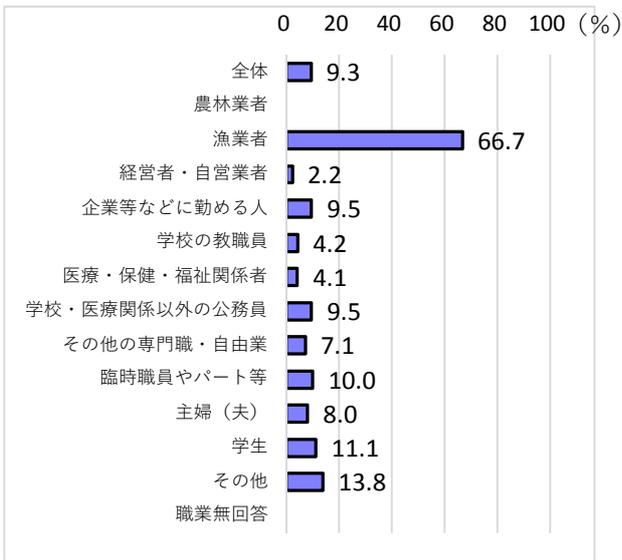
その他



特にない



わからない



全体	(N=914)
農林業者	(N=17)
漁業者	(N=3)
経営者・自営業者	(N=45)
企業等に勤める人	(N=168)
学校の教職員	(N=24)
医療等の関係者	(N=97)
その他の公務員	(N=21)
他の専門職・自由業	(N=14)
臨時職員・パート等	(N=80)
主婦(夫)	(N=137)
学生	(N=18)
その他	(N=269)
職業無回答	(N=21)

子どもに関する人権問題の「見聞きした経験」について職業別にみると、大半の職業において「子どもの間でいじめが行われていること」の回答割合が最も高くなっており、その他の専門職・自由業は35.7%となっている。また、学校の教職員は「食事や健康管理など、養育に本気で取り組まない保護者がいること」(45.8%)、学生は「成績だけを気にかけている保護者がいること」(27.8%)の回答割合が他の職業に比べ高くなっている。